

中野区(東京都)の一体的実施

平成24年2月1日事業開始

区役所庁舎内に「中野就職サポート」を開設し、区とハローワークによる生活保護受給者、住宅手当受給者等に対する一体的支援等を効果的・効率的に実施。

区

福祉サービス、相談の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

- ・生活保護受給者、住宅手当受給者、児童扶養手当受給者及び障害者に対する支援

② 協定・事業計画

- ・中野区長、東京労働局長及び新宿公共職業安定所長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を中野区、東京労働局及び新宿公共職業安定所の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

③ 運営協議会

- ・中野区職員、東京労働局職員及びハローワーク新宿職員をメンバーとする運営協議会を設置。(中野区長が会長)

中野区本庁舎内の福祉担当課と同一フロアに中野就職サポートを設置。身近な区役所で、国の職員が、即時の職業紹介と予約制・担当者制を組み合わせつつ対応し、福祉から就労までの一体的支援等を実現。

(1) 実施体制

区

- ・生活援護分野(生活保護関係) 査察指導員 9名
就労支援員 2名
- ・生活援護分野(住宅手当関係) 就労支援員 10名
- ・子育て支援分野(児童扶養手当関係) 就労支援担当 1名
- ・障害福祉分野 就労支援担当 1名

国

- ・職業相談員(就職支援ナビゲーター等) 2名
- ・求人情報提供端末2台、職業紹介端末2台を配置

(2) 事業目標と取組状況

	24年度事業目標	取組状況(24年9月末時点)
新規支援対象者数	生活保護受給者等に対する就労支援(支援プラン策定)を新たに年間200人以上実施する。	支援プラン策定者数 87人 (相談延べ数 1,462件)
	(参考)23年度目標(24年2~3月) 月間延べ140人(週延べ35人)の生活保護受給者等に対する就労支援の実施。	(参考)23年度実績(24年2~3月) 2月 延べ248人 3月 延べ285人
就職率	就労支援の対象とし支援プランを策定した者の就職率 ・60%以上	支援プラン策定者数 就職者数 就職率 4~9月 87人 67人 77.0%
	(参考)23年度目標(24年2~3月) 支援プラン策定した者の就職率60%以上	(参考)23年度実績(24年2~3月) 就職率 100%

一体的実施事業による就職成功例

男性：46歳 希望職種：調理・清掃

○ 本人の状況・背景

腰痛が悪化。治療費が払えず、生活保護となる。

① 抱える課題

腰痛を抱えるため、職種が限定される。

② 支援内容・ポイント・経過

・仕事を辞めてから3年間のブランクがあるため、履歴書の書き方、面接時の注意点、面接時の服装、書類の出し方などきめ細かくアドバイスを実施。ハローワークから提案した清掃の仕事に応募。

③ 結果

・清掃会社に契約社員で採用
※支援期間 1カ月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

・本人がアドバイスに耳を傾け、積極的な就労活動を行ったことが結果につながった。

○ 本人のコメント

・三年間も仕事に就かずにいたため、就職活動は不安だったが、福祉と同じ区役所内にハローワークができてよかった。

男性：45歳 希望職種：ホテルフロント業務

○ 本人の状況・背景

販売業・倉庫作業などの仕事をしてきたが、腰痛が悪化し収入が途絶え、生活保護となる。

① 抱える課題

腰痛で通院中。希望職種の仕事が見つからない。

② 支援内容・ポイント・経過

・できる仕事、できない仕事を明確にし、無理しないでできる仕事から始めることを提案。ハローワークの就職ナビゲーターが本人希望職種であるホテルフロント職を探し、腰痛の件を伝えた上で、面接を要請。数十件断られるも、面接設定に成功。

③ 結果

・ビジネスホテルのフロント職にパートタイムで採用
(月10日勤務) ※支援期間 3カ月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

・本人がやりたかったホテルのフロント職で面接が決まってからは、やる気が全面に現れていた。

○ 本人のコメント

・あきらめていた仕事に就くことができ感謝している。まだ自立には至らないが、最初の一步は踏み出せたので、身体がよくなれば次の一步を踏み出したい。